

平成 30 年度 学校評価アンケート結果

生徒・保護者・教職員による各項目の平均と 3 月 1 日に実施されました「学校評議委員会・学校評価委員会」で評議委員の皆様からいただいたご意見をお伝えします。この結果を参考に次年度も魅力ある学校づくりに取り組んでまいります。

三者結果(平均値)		生徒	保護者	教職員
とてもそうおもう……4点      そう思う………3点 あまりそうではない……2点      そうはおもわない……1点      無回答……0点				
魅力ある学校づくり	1 入船中学生は学校生活を楽しんでいると思う。	3.4	3.5	3.5
	2 入船中の生徒は気持ちのよい挨拶ができていると思う。	3.2	3.3	3.2
	3 入船中に入學してよかったと思う。	3.6	3.6	3.5
	4 部活動での経験は子どもの成長に生かされると思う。	3.6	3.6	2.9
	5 学校は環境教育など魅力ある学校づくりのための取り組みを積極的にしていると思う。	3.5	3.5	3.5
	6 学校は学級や学校の様子をホームページや手紙などで積極的に知らせていると思う。	3.3	3.3	3.2
	7 学校は人の生き方を考えたり豊かな心を育てようとしていると思う。	3.3	3.3	3.3
	8 担任や学年の先生方は生徒を理解した指導をし、信頼関係を築こうとしていると思う。	3.3	3.5	3.4
やかな体	9 子どもは規則正しい食生活を送っていると思う。	3.4	3.3	3.1
	10 子どもは好んで体を動かし、運動に親しんでいると思う。	3.3	3.0	3.0
	11 子どもの体カづくりに向けた取組をしていると思う。	3.0	2.9	2.7
確かな学力	12 子どもは授業をよく理解している。(生徒・保護者) 生徒がわかる授業づくりをしている(教員)	3.2	2.9	3.3
	13 子どもは授業に意欲的に取り組んでいる。(生徒・保護者) 生徒が意欲的に取り組む授業づくりをしている(教員)	3.0	3.0	3.4
	14 子どもは帰宅後も学習する機会(時間)がある。	3.2	3.1	3.2
	15 タブレットを使った授業は分かりやすいと思う。(生徒・保護者) 分かりやすい授業のためにタブレットを使用している。(教員)	3.1	3.2	3.4
	16 子どもの学力は向上していると思う。	3.1	2.9	3.3
郷土愛	17 子どもは地域の活動や行事(夏祭りなど)に積極的に参加していると思う。	3.1	3.3	3.3
	18 子どもは地域に貢献する活動(美化活動など)に関心を持っていると思う。	2.9	3.1	3.2
豊かな心	19 子どもは友だちや周囲の人々のことを思いやる気持ちを持っていると思う。	3.3	3.5	3.4
	20 入船中はいじめのない楽しい学級づくりに努めていると思う。	3.4	3.4	3.5
	21 生徒や先生のあいさつはよくできていると思う。	3.4	3.5	3.1
	22 生徒は失敗してもくじけない心を持っていると思う。	3.0	3.2	2.8
かかわり	23 入船中学校では、地域や校外の方々いろいろな活動をととして触れ合う機会があると思う。	3.2	3.4	3.3
	24 入船中学校の専門委員会は学年の垣根を越えて活動を行い、責任や人との関係づくりに有効だと思う。	3.3	3.5	3.3
	25 体育祭や合唱コンクール、旅行行事などの学校行事は、充実している。	3.5	3.5	3.4
希望・小中連携	26 将来なりたいものがある。または、なりたいものがある。(将来の夢・希望を持っている)	3.2	3.1	3.2
	27 意欲的に小学生との委員会・部活動の交流を行っていると思う。	3.2	3.3	3.3
	28 小学生との委員会・部活動等の交流を通し、中学生としての自覚が増しと思う。	3.3	3.4	3.5
	29 小学生が中学校の施設を利用したり、中学生が小学校に出向いたり、活動をともにすることは9年間を見通した教育活動に繋がることだと思ふ。	3.4	3.5	3.5

☆学校評価アンケートの結果をもとに「第2回学校評議委員会・学校評価委員会」でいただいたご意見をもとに次年度の学校運営の方向性について説明いたします。

○魅力ある学校づくりにおいて

→「入船中学校に入學させてよかった」の項目の保護者の評価は平均3.6となっており、おおむね高い評価結果となりました。学年別で生徒3年生は全員3または4の評価をつけていました。生徒のコメント欄にも「入船中を選んで入學してよかった」保護者からは、「多様性を認める、同調性のない学校であってほしいと願っています。」「これからも小規模校ならではの人と人の距離が近い個性が輝く魅力的な学校であってほしいです。」などのご意見をいただきました。1, 2年生も3年次にはこのような結果になるよう努めたいと思います。

○確かな学力において

→全体的に教職員は平均3.2から3.4の結果となっていますが、生徒や保護者は平均2.9から3.2となっていました。小規模校であることの良さを最大限生かした授業づくり、研究を進め、教職員の意欲が生徒の結果にむすびつくよう取り組む必要があります。今年度からの教学における習熟度別学習は基礎基本の定着と発展学習において個々のニーズに合わせて学べる場でありさらに次年度以降も取り入れていきます。

○小中連携・一貫教育

→生徒が主体的に活動し、自己肯定感を育むことを目的に全員加入制の専門委員会を行い、小中連携の柱の一つとして2年目となります。その成果が今年度のアンケートの結果に現れました。次年度は専門委員会の日にちを年間とおして合わせるように計画し、目的や活動内容を明確にして、連携教育に取り組んでいきます。

○評議委員・評価委員より

→今年度もアンケートは記名式としました。無記名をとのお声もいただきましたが、いただいたご意見を真摯に受け止め改善すべき点として捉えると共に、アンケートを通して悩みを抱えている生徒に気づくことができ、対応することもできました。評議委員の方にも顔が見えるアンケートは効果的であるとの意見をいただきました。

→入學式・卒業式、地域文化祭、3年生を送る会など様々な行事の参観については年度当初に紹介させていただいており、多くの方に参観いただきその都度感想をいただくことができました。「学校評価アンケート結果からもわかりますが、学校行事は生徒の思いを重視し、生徒が主体的に活動しているような取組みとなっている」「何より、活動している生徒の表情をみればわかることである」「少人数の良さであり、学校が意識して取り入れていることだと思うが、様々な生徒が活躍できる場面が多くあることは本校の教育の目標にもある、自己肯定感を育む活動に繋がっているとおもう」働き方改革を視野に入れ、目的意識を持って内容を検討していきたくと思います。